

【島を訪れる】施策の柱4 2

①予算事業名	ホテル館運営事業	予算科目	10-5-5-3	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	交流人口・移住定住人口の増大		
②担当部課名	博物館	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	交流事業の拡充 施策の柱 42-1		
③事業内容	平成31年4月に開催される「全国ホテル研究会久米島大会」の開催のために展示資料作りやピオトープ作り等を行い、同大会を通じて、ホテル館の活動やホタルレンジャー活動、ホテルの研究について全国に発信するための準備活動を行う。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)	
	財源内訳	(a) 国庫					
		(b) 県費					
		(c) 地方債等			300,000		
		(d) 一般財源	7,251,000	6,936,000	6,844,000		
	計(a~d)	7,251,000	6,936,000	7,144,000	0	0	
	特定財源名	(a)または(b)の名称		(c)の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	平成31年4月の全国ホテル研究会久米島大会開催のための下準備として、ピオトープ作りの取り組みとホタルレンジャー活動を全国のホテル研究者、ホテルの会、愛好家に知らせるための活動を行う。					
	平成31年度(予定)	全国ホテル研究会久米島大会開催後も、ホタルレンジャー活動とホテル緑地公園(仮称)づくりのモデルであるホテル館のピオトープ作りを継続する。研究大会を契機に、クメジマボタル保護のための取り組みを広げ、各種団体や議会とも連携し、国の天然記念物指定に向けての新たな取り組みを始める。必要な資料を整えるために、引き続きクメジマボタル等の調査・資料作りを行う。					
	平成32年度(予定)						
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
	ホテル館施設内外にホテルピオトープを創出する(仮称:ホテル緑地公園)	目標	( / )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	クメジマボタルの国の天然記念物指定を目指し、H29年クメジマボタル種の保存法指定を受けて、保護のための取り組みを具体化する	目標	( / )	( )	( )	( )	( )
実績							
事業成果効果	事業の多くが個人のボランティアの手によって、手作りでなされている。ホタルレンジャー等により丁寧なピオトープが作られている。農地からの大量の赤土流出が不安材料であるが、これまでの活動により多くの人が協力できる状況や体制を構築しつつある。H31年4月にホテル大会が予定されており、少しでも多くホテルが出現する環境を整え、ホタルレンジャーを中心とするホテル館の活動を全国的に周知し、ホテルが生息できる自然環境の保護、ホテルの里復活の気運を高める。						
⑧写真及び図面	 <p>いろいろな生きもののためにみんなで川をつくります ピオトープ作りは自然と共生するためです 久米島はボタルの宝庫で牧草地にまでボタルが湧き出ている川や池は埋まり汚れています。</p>						